

## 目次

ジャンル別	
1	基礎工学 [ 1 ] ————— 3 [ギヤ機構] [トランスミッションのギヤ機構] [トランスミッションとファイナル・ギヤ]
2	基礎工学 [ 2 ] ————— 5 [トランスミッションとファイナル・ギヤ] [ブレーキ] [電気回路]
3	基礎工学 [ 3 ] ————— 7 [電気回路]
4	基礎工学 [ 4 ] ————— 9 [自動車の構造 (警報装置)] [自動車の材料 (鉄鋼)] [自動車の材料 (非鉄金属)] [自動車の材料 (ガラス)] [自動車の機械要素 (ベアリング)] [潤滑剤 (オイル)]
5	基礎工学 [ 5 ] ————— 11 [潤滑剤 (オイル)] [潤滑剤 (グリース)] [基礎的な原理・法則 (力・仕事・圧力)] [基礎的な原理・法則 (電気)] [自動車の諸元]
6	基礎工学 [ 6 ] ————— 13 [整備作業] [サーキット・テスト]
7	基礎工学 [ 7 ] ————— 15 [サーキット・テスト]
8	動力伝達装置 [ 1 ] ————— 17 [クラッチの構造] [クラッチの不良] [クラッチ・ディスクの点検・整備] [トランスミッションの原理]
9	動力伝達装置 [ 2 ] ————— 19 [トランスミッションの原理] [マニュアル・トランスミッション 一般] [イナーシャ・ロック・キー式の構造] [プラネタリ・ギヤ・ユニット] [油圧制御装置]
10	動力伝達装置 [ 3 ] ————— 21 [油圧制御装置] [ドライブ・シャフト] [ファイナル・ギヤ]
11	アクスル／サスペンション ————— 23 [車軸懸架式] [独立懸架式] [シャシ・スプリング] [ショック・アブソーバ]

12	ステアリング装置	25
	[ステアリング・ギヤ機構]	
	[ステアリング・リンク機構]	
	[パワー・ステアリング]	
13	ホイール及びタイヤ	27
	[ホイール及びタイヤ]	
14	ホイール・アライメント	29
	[キャスト] [スラスト角] [キング・ピン傾角]	
	[ホイール・アライメントの点検]	
15	ブレーキ装置 [1]	31
	[タンデム・マスタ・シリンダ]	
	[油圧式ドラム・ブレーキの種類と作動]	
	[油圧式ドラム・ブレーキ]	
	[油圧式ディスク・ブレーキ] [ブレーキ液]	
16	ブレーキ装置 [2]	33
	[Pバルブ] [真空式制動倍力装置]	
	[パーキング・ブレーキ]	
17	フレーム&ボデー	35
	[フレーム&ボデー]	
18	電気装置 [1]	37
	[半導体] [バッテリー]	
19	電気装置 [2]	39
	[バッテリー] [灯火装置] [ワイパ・モータ]	
	[冷房装置]	
20	電気装置 [3]	41
	[冷房装置] [CAN通信]	
21	法 令 [1]	43
	[自動車の種別] [認証制度] [定期点検]	
	[車体構造] [前方の灯火]	
22	法 令 [2]	45
	[前方の灯火] [後方の灯火] [警音器]	
	[非常信号用具]	
.....		
模擬試験		
.....		
23	模擬試験 第1回	47
24	模擬試験 第2回	53
25	模擬試験 第3回	59
	正解一覧	65

## はじめに

### 1. 収録問題と構成

- 「ジャンル別」問題では、過去に実施された12回分の登録試験を収録してあります。

収録方法としては過去の試験問題を、①基礎工学、②動力伝達装置、③アクスル／サスペンション、④ステアリング装置、⑤ホイール及びタイヤ、⑥ホイール・アライメント、⑦ブレーキ装置、⑧フレーム&ボデー、⑨電気装置、⑩法令、に区分して配列しました。また、各区分ごとに、さらに細かく項目を分類してあります。

- 「模擬試験」では、過去の登録試験を基に選択肢の順序を入れ替えて編集してあります。したがって、「ジャンル別」と「模擬試験」の両方を終えれば、合計12回分の問題に取り組んだことになります。

回数	1	2	3	4	5	6
実施年月	令和7年10月	令和7年3月	令和6年10月	令和6年3月	令和5年10月	令和5年3月
受験者数	750人	1,588人	819人	1,816人	942人	1,799人
合格者数	531人	1,070人	540人	1,224人	607人	1,148人
合格率	70.8%	67.4%	65.9%	67.4%	64.4%	63.8%

回数	7	8	9	10	11	12
実施年月	令和4年10月	令和4年3月	令和3年10月	令和3年3月	令和2年10月	令和2年3月
受験者数	993人	1,947人	931人	1,798人	926人	2,151人
合格者数	699人	1,947人	606人	1,374人	641人	1,234人
合格率	70.4%	66.7%	65.1%	76.4%	69.2%	57.4%

- 各項目の見出しの横に記載してある▶**問解**マークは、弊社出版物『自動車整備士 3級シャシ 問題と解説 令和8年版』※1（以下、『問解』）の掲載項を表しています。本書は『問解』に沿って構成※2しているのので、『問解』と本書『練習問題集』を併せて学習する場合や、問題を解くにあたって解説が必要な場合などに活用して下さい。

※1：令和8年1月発刊予定。

※2：編集の都合上、『問解』と『練習問題集』は、一部問題や収録順序が異なる場合があります。

- 出題時期は、各問題の最後に〔 〕で表示しました。[R7.10]であれば令和7年10月の問題、[R2.3]であれば令和2年3月の問題ということになります。複数表示されている場合は、類似問題も含めて過去に複数回出題されていることを示しています。また、[編集部]とある場合は編集部で作成した問題であることを示しています。
- 各問題には「☐」マークを付けました。これにチェックを入れることで、問題の習熟度を知ることができます。
- 教科書改訂又は法改正により設問自体が不適切となっている場合があります。このような場合は、編集部で設問の一部あるいは全部を書き換え、適切なものとなるようにしています。設問の出題時期の後に[改]とあるものが該当します。

### 2. 試験の出題形式及び合格基準について

- 出題形式は四肢択一式で、解答はマークシート方式です。試験時間は60分です。
- 試験問題は全部で30問出題されます。採点は1問1点で、合計30点満点です。合格基準は70%以上の成績といわれています。

### 3. 正解について

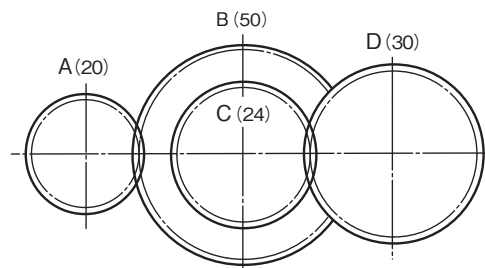
- 試験を行う日整連は、問題の正解を公表しています。従って、公表されている正解をそのまま掲載しました。

<b>1</b> 基礎工学 [ 1 ]	番号	氏名	問 / 7 問 <b>3C</b>
---------------------	----	----	-------------------

■ [ギヤ機構] ▶ 問解 第1章 基礎工学 2. 計算問題 **2-3** ギヤ機構

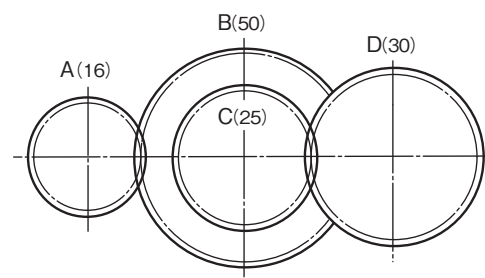
【1】図のようにかみ合ったギヤA、B、C、DのギヤAをトルク $640\text{N}\cdot\text{m}$ で回転させたときのギヤDのトルクとして、適切なものは次のうちどれか。ただし、伝達による損失はないものとし、ギヤBとギヤCは同一の軸に固定されている。なお、図中の（ ）内の数値はギヤの歯数を示す。[R7.3]

- ☐ 1.  $204\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 2.  $888\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 3.  $960\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 4.  $2,000\text{N}\cdot\text{m}$



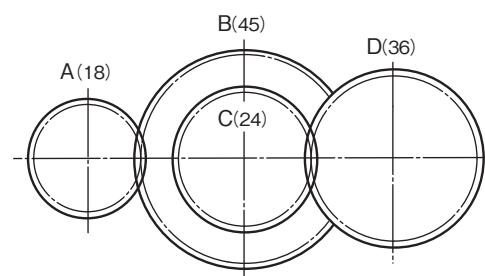
【2】図のようにかみ合ったギヤA、B、C、DのギヤAをトルク $652\text{N}\cdot\text{m}$ で回転させたときのギヤDのトルクとして、適切なものは次のうちどれか。ただし、伝達による損失はないものとし、ギヤBとギヤCは同一の軸に固定されている。なお、図中の（ ）内の数値はギヤの歯数を示す。[R5.10]

- ☐ 1.  $173\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 2.  $347\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 3.  $2,445\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 4.  $3,667\text{N}\cdot\text{m}$



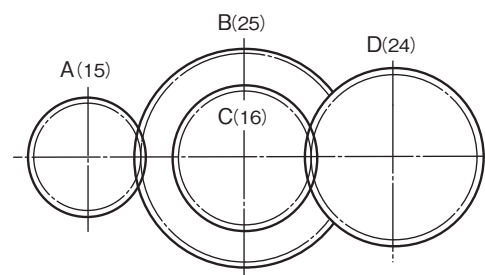
【3】図のようにかみ合ったギヤA、B、C、DのギヤAをトルク $340\text{N}\cdot\text{m}$ で回転させたときのギヤDのトルクとして、適切なものは次のうちどれか。ただし、伝達による損失はないものとし、ギヤBとギヤCは同一の軸に固定されている。なお、図中の（ ）内の数値はギヤの歯数を示す。[R4.3]

- ☐ 1.  $90\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 2.  $170\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 3.  $1,275\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 4.  $2,550\text{N}\cdot\text{m}$



【4】図のようにかみ合ったギヤA、B、C、DのギヤAをトルク $240\text{N}\cdot\text{m}$ で回転させたときのギヤDのトルクとして、適切なものは次のうちどれか。ただし、伝達による損失はないものとし、ギヤBとギヤCは同一の軸に固定されている。なお、図中の（ ）内の数値はギヤの歯数を示す。[R2.10]

- ☐ 1.  $96\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 2.  $150\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 3.  $384\text{N}\cdot\text{m}$   
☐ 4.  $600\text{N}\cdot\text{m}$

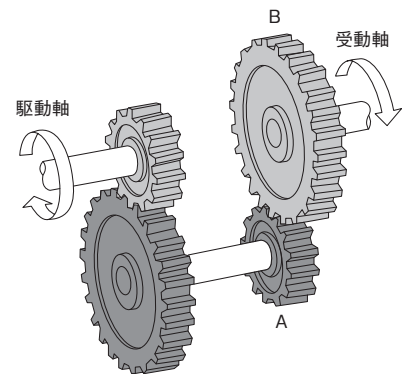


9	動力伝達装置 [ 2 ]	番号	氏名	問 / 9 問 3C
---	--------------	----	----	------------

■ [トランスミッションの原理] ▶ 問解 第2章 シャシ 1. 動力伝達装置 1-4 トランスミッションの原理

【1】図に示すギヤの組み合わせに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。[R2. 3]

- ☐ 1. 受動軸のトルクは、「駆動軸のトルク×変速比」で求められる。
2. 変速比は、「駆動軸のトルク÷受動軸のトルク」で求められる。
3. 受動軸の回転速度は、「駆動軸の回転速度÷変速比」で求められる。
4. ギヤAとギヤBの間に、もう一つのアイドル・ギヤをかみ合わせると、回転は今までの逆になり、リバース・ギヤとなる。



■ [マニュアル・トランスミッション 一般]

▶ 問解 第2章 シャシ 1. 動力伝達装置 1-5 マニュアル・トランスミッション 一般

【2】FR車のシンクロメッシュ式マニュアル・トランスミッションに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。[R7. 10/R6. 10/R5. 3]

- ☐ 1. 後退時は、カウンタ・シャフトを逆回転させるために、リバース・ギヤとカウンタ・シャフト・リバース・ギヤとの間にリバース・アイドル・ギヤを設けている。
2. インタロック機構は、ギヤ・シフトの際、同時に2種類のギヤにシフトされないようにしている。
3. シンクロナイザ・ハブ内周のスプラインは、カウンタ・シャフトとかん合している。
4. ロッキング・ボールは、ギヤ・シフトの際、ギヤ鳴りを防止する働きをする。

【3】FR車のシンクロメッシュ式マニュアル・トランスミッションに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。[R3. 10/R2. 3]

- ☐ 1. シンクロナイザ・ハブ内周のスプラインは、メイン・シャフトとかん合している。
2. カウンタ・シャフトは、常時、プロペラ・シャフトと同じ速度で回転している。
3. ロッキング・ボールは、ギヤ・シフトの際、ギヤ鳴りを防止する働きをする。
4. インタロック機構は、走行中にギヤ抜けを防止する働きをする。

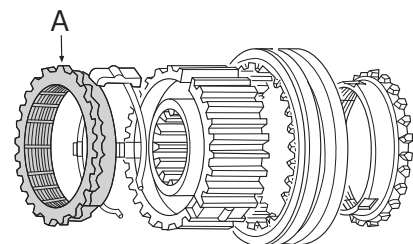
■ [イナーシャ・ロック・キー式の構造]

▶ 問解 第2章 シャシ 1. 動力伝達装置 1-6 M/T イナーシャ・ロック・キー式の構造

【4】図に示すキー式のシンクロメッシュ機構のAの部品名称として、**適切なもの**は次のうちどれか。

[R7. 10/R6. 3/R3. 3]

- ☐ 1. スリーブ
2. シンクロナイザ・ハブ
3. シンクロナイザ・リング
4. シンクロナイザ・キー



16 ブレーキ装置 [ 2 ]	番号	氏名	問 / 7 問 3C
-----------------	----	----	------------

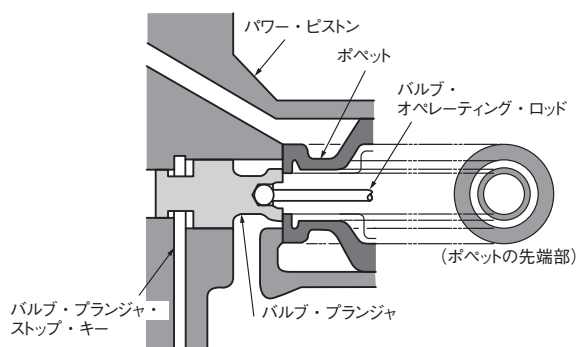
■ [Pバルブ] ▶ 問解 第2章 シャシ 6. ブレーキ装置 6-6 プロポーションング・バルブ (Pバルブ)

【1】油圧式ブレーキのLSPV（ロード・センシング・プロポーションング・バルブ）に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[編集部]

- ☒ 1. 積載荷重が大きくなると、液圧制御開始点が高くなる。
2. 減速度による制御では、減速度の大小によって、液圧制御開始点を变化させている。
3. 高速時にはフロント系統、低速走行時にはリヤ系統の液圧を制御する。
4. リヤ系統の液圧を制御し、後輪の早期ロックを防止する。

■ [真空式制動倍力装置] ▶ 問解 第2章 シャシ 6. ブレーキ装置 6-7 真空式制動倍力装置

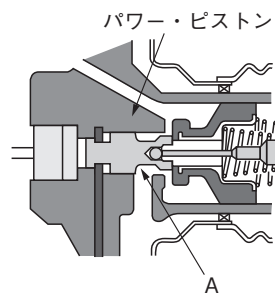
【2】図に示す真空式制動倍力装置に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[R4. 10/R3. 3]



- ☒ 1. 真空式制動倍力装置は、パワー・ピストン、リアクション機構の二つだけで構成されている。
2. ブレーキ・ペダルを踏まないとき、バキューム・バルブは閉じ、エア・バルブは開いている。
3. エア・バルブは、バルブ・プランジャとバルブ・オペレーティング・ロッドに接した部分をいう。
4. バキューム・バルブは、ポペットの先端部とパワー・ピストンのシート部と接した部分をいう。

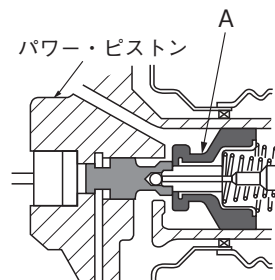
【3】図に示す真空式制動倍力装置のAの部品名称として、適切なものは次のうちどれか。[R7. 10/R6. 3/R2. 10]

- ☒ 1. ポペット
2. バルブ・プランジャ
3. プライマリ・ピストン
4. リアクション・ディスク



【4】図に示す真空式制動倍力装置のAの部品名称として、適切なものは次のうちどれか。[R7. 3/R5. 10/R4. 3]

- ☒ 1. ポペット
2. バルブ・プランジャ
3. プライマリ・ピストン
4. リアクション・ディスク



<b>21</b> 法令[1]	番号	氏名	問/15問 <b>3C</b>
-----------------	----	----	-----------------

■ [自動車の種別] ▶ 問解 第4章 法令 1. 車両法/点検基準 **1-1** 自動車の種別

【1】「道路運送車両法」に照らし、自動車の種別に該当しないものは次のうちどれか。[R5. 10/R4. 3/R2. 10]

- ☐ 1. 軽自動車                      2. 小型自動車                      3. 普通自動車                      4. 大型自動車

■ [認証制度] ▶ 問解 第4章 法令 1. 車両法/点検基準 **1-4** 認証制度

【2】「道路運送車両法」に照らし、自動車特定整備事業の種類に該当しないものは、次のうちどれか。[編集部]

- ☐ 1. 特殊自動車特定整備事業                      2. 軽自動車特定整備事業  
3. 小型自動車特定整備事業                      4. 普通自動車特定整備事業

【3】「道路運送車両法」に照らし、普通自動車特定整備事業の対象車種に該当しないものは、次のうちどれか。

[編集部]

- ☐ 1. 検査対象軽自動車                      2. 四輪の小型自動車                      3. 普通自動車                      4. 大型特殊自動車

【4】「道路運送車両法」に照らし、自動車特定整備事業者の義務に関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものはどれか。[R5. 3]

自動車特定整備事業者は、特定整備を行う場合においては、当該自動車の特定整備に係る部分が（ ）に適合するようにしなければならない。

- ☐ 1. 点検基準                      2. 認証基準                      3. 指定基準                      4. 保安基準

■ [定期点検] ▶ 問解 第4章 法令 1. 車両法/点検基準 **1-5** 定期点検

【5】「道路運送車両法」に照らし、道路運送車両の点検及び整備について、次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R7. 3]

自動車の（イ）は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を（ロ）に適合するように維持しなければならない。

- |                          |        |      |
|--------------------------|--------|------|
|                          | (イ)    | (ロ)  |
| <input type="checkbox"/> | 1. 使用者 | 保安基準 |
|                          | 2. 使用者 | 整備基準 |
|                          | 3. 所有者 | 保安基準 |
|                          | 4. 所有者 | 整備基準 |

【6】「道路運送車両法」に照らし、日常点検整備に関する次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R6. 10/R3. 10/R2. 3]

自動車の使用者は、自動車の（イ）、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、（ロ）等により自動車を点検しなければならない。

- |                          |         |       |
|--------------------------|---------|-------|
|                          | (イ)     | (ロ)   |
| <input type="checkbox"/> | 1. 使用年月 | 点検ハンマ |
|                          | 2. 走行距離 | 点検ハンマ |
|                          | 3. 使用年月 | 目視    |
|                          | 4. 走行距離 | 目視    |

【7】「道路運送車両法」に照らし、点検整備記録簿に記載しなければならない事項として、不適切なものは次のうちどれか。[編集部]

- ☐ 1. 点検の結果                      2. 整備の概要                      3. 整備に入庫した年月日                      4. 点検の年月日



<b>23</b> 模擬試験 第1回	番号	氏名	点／30点 <b>3C</b>
--------------------	----	----	-----------------

【1】自動車の性能及び諸元に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- ☒ 1. 旋回時の自動車は、遠心力とコーナリング・フォースが釣り合った状態である。
2. 空車状態とは、燃料、潤滑油、冷却水などを全量搭載し、運行に必要な装備をした状態をいう。
3. 駆動力は、路面とタイヤの摩擦力以上に大きくならない。
4. 走行抵抗は、車速が増すごとに大きくなるが、勾配の大きさは影響しない。

【2】油圧式のダイヤフラム・スプリング式クラッチにおいて、切れ不良の原因として、**不適切なものは次のうちどれか。**

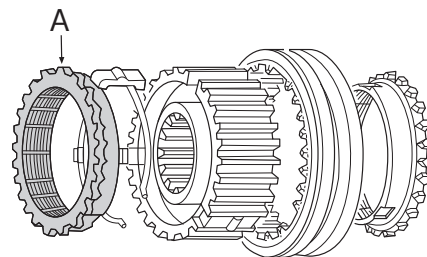
- ☒ 1. クラッチ・ディスクとクラッチ・シャフトのスプライン部のしゅう動不良
2. クラッチ油圧系統へのエア混入
3. ダンパ・スプリングの衰損
4. ダイヤフラム・スプリングの高さの不ぞろい

【3】潤滑剤に関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。**

- ☒ 1. SAE 粘度分類では、粘度番号が大きいものほど粘度が低くなる。
2. オイルの粘度は、高過ぎると粘性抵抗が大きくなる。
3. ブレーキ・グリースは、非石けん系のシリカゲル・グリースに分類される。
4. ギヤ・オイルの粘度指数は、小さいものほど温度による粘度変化の度合いが少ない。

【4】図に示すキー式のシンクロメッシュ機構のAの部品名称として、**適切なものは次のうちどれか。**

- ☒ 1. スリーブ
2. シンクロナイザ・キー
3. シンクロナイザ・ハブ
4. シンクロナイザ・リング



【5】オートマチック・トランスミッションに用いられているオイル・ポンプに関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、**適切なものはどれか。**

オイル・ポンプは、トルク・コンバータの（ ）とともにエンジンによって駆動される。

- ☒ 1. ポンプ・インペラ
2. ワンウェイ・クラッチ
3. ステータ
4. タービン・ランナ

【6】FR車のシンクロメッシュ式マニュアル・トランスミッションに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。**

- ☒ 1. 後退時は、カウンタ・シャフトを逆回転させるために、リバース・ギヤとカウンタ・シャフト・リバース・ギヤとの間にリバース・アイドル・ギヤを設けている。
2. ロッキング・ボールは、ギヤ・シフトの際、ギヤ鳴りを防止する働きをする。
3. インタロック機構は、ギヤ・シフトの際、同時に2種類のギヤにシフトされないようにしている。
4. シンクロナイザ・ハブ内周のスプラインは、カウンタ・シャフトとかん合している。

3 C	正解一覧
-----	------

<b>1</b>	基礎工学 [1]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】
4	3	3	4	3	2	2

<b>2</b>	基礎工学 [2]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】
2	2	2	4	3	4	1

<b>3</b>	基礎工学 [3]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】
4	3	2	4	1	4	1	2	1

<b>4</b>	基礎工学 [4]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】	【10】	【11】
3	4	3	2	1	2	4	2	3	1	2

<b>5</b>	基礎工学 [5]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】	【10】	【11】	【12】	【13】	【14】	【15】
3	1	1	3	4	4	1	1	2	2	1	2	4	4	1

<b>6</b>	基礎工学 [6]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】
2	3	1	3	4	1	4	1

<b>7</b>	基礎工学 [7]
----------	----------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】
3	1	1	4	1	1

<b>8</b>	動力伝達装置 [1]
----------	------------

【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】	【10】	【11】
3	1	4	1	2	2	3	2	4	1	2

<b>9</b>	動力伝達装置 [2]
----------	------------


【1】	【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】
2	2	1	3	1	4	1	4	1



# 本書に関する訂正とお問い合わせについて

書籍の訂正について

株式会社公論出版 ホームページ  
書籍サポート/訂正  
URL : [https://kouronpub.com/book\\_correction.html](https://kouronpub.com/book_correction.html)



本書の内容で分からないことがありましたら、必要事項を明記の上、下記問い合わせフォームより、メールにてお問い合わせください。

本書籍に関するお問い合わせ

メール  


問い合わせフォーム



必要事項

- ・お客様の氏名とフリガナ
- ・書籍名
- ・該当ページ数
- ・問い合わせ内容

※電話でのお問い合わせは、受け付けておりません。

※回答まで時間がかかる場合があります。ご了承ください。

※必要事項の記載がない場合、問合せにお答えできませんのでご注意ください。

※キャリアメールをご使用の場合、下記メールアドレスの受信設定を行ってからご連絡ください。

お問い合わせメールアドレス inquiry@kouronpub.com

※お問い合わせは、本書の内容に限ります。

※お問い合わせの有効期限は、本書籍の発行日から1年間とさせていただきます。

本書の記載内容は、著作物として著作権法によって保護されています。

本書の全部又は一部について無断で、コピー等を行うことは禁じられており、著作権の侵害となります。

令和8年版  
3級シャシ  
自動車整備士  
練習問題集

定価800円（税込）

■発行日 令和7年12月 初版

■発行所 株式会社 公論出版  
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8  
TEL：03-3837-5731  
FAX：03-3837-5740  
HP：<https://www.kouronpub.com>